

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月3日

事業所名 かむらっきーず

		チェック項目	はい	いいえ	意見/課題	改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・全体的に部屋が狭く、学習スペースが狭く感じる	・広いとは言えないが、指定基準以上は確保。 ・学習室と共用スペースをパーティションで区切っている。学習時は児童の実態に応じて共用スペースや相談室を使用しながら、集中出来る環境作りにも努めている。 ・活動中、室内活動、外活動を時間を分けて工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	○			・配置基準以上の人数を配置。活動に合わせて安全性を考慮した人員配置を心がけている。 ・実態に合わせてマンツーマンで支援に入ったり、集団で支援したりする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・トイレに段差があり	・現在スロープが必要な児童はいない。 ・完全なバリアフリー化はしていないが、可能な限り配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・毎日の朝礼、適時ミーティングを実施し、業務改善を図っている。 ・日々の活動及びイベント等は振り返り、反省点は次回に活かすようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今回が2回目の評価表だが、1回目の時はアンケートの結果を元に話し合い、改善を図った。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・HPに公開している。またアンケート結果を印刷し、保護者へ配布も同時に実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在、第三者委員会の設置には至っていないため、今後は検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修の機会が少なく感じる	・適宜、社内研修を実施。また外部研修に参加している。 ・今後計画的に研修を実施し、研修の機会を増やし、職員のスキルアップに繋げる。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・利用者、保護者の方からのご要望に沿うように意見の聞き取りを実施し、個別支援計画を作成。 ・都度、保護者と連携を取り、児童様子を伺い、実態、またニーズを聞き取り計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・アセスメントシートは標準化されたものを使用しておりますが、今後はさらに専門性の高いアセスメントツールの導入を検討。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・月間のプログラムは職員全員で話し合いしている。詳細な活動案は担当者がまとめ、全体で共有、話し合いを実施している。

		チェック項目	はい	いいえ	意見/課題	改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心や特性、季節に応じてプログラムを立案。 ・定期的なプログラムでも内容を変更したり、外部イベントを立案したり工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのサービス提供時間に合わせた活動や課題を決めて取り組んでいる。 ・児童たちの個別目標に沿って課題を準備することはもちろん、直近の課題によっても変更している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿って平日は個別の課題を中心的に支援を実施しているが、週1回以上は集団活動を実施。また休日や長期休みなどは集団活動を中心的に実施し、児童の状況、また学年別で分けて取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼に支援内容を確認している。 ・毎月1回はケースカンファレンスにて目標のモニタリング、進捗等の確認を実施。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性がない限り、支援終了後ではなく、翌日の朝礼時に振り返りを実施。 ・朝礼時に話し合った内容は議事録を取り、職員間で共有出来るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、システムに記録の入力を実施している。また支援の検証結果等を共有したり、支援について職員間で話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回ケースカンファレンスを実施し、目標のモニタリングや進捗を確認、共有し、見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた自立課題や集団活動、余暇活動などを実施している。

		チェック項目	はい	いいえ	意見/課題	改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○			・児童発達管理責任者が全会議に出席して おり、必要な情報は事前に全職員から情報 の共有をし、また日々の記録も見返し出席し ている。 ・児童の状況によっては児童発達管理責任 者だけではなく、他職員も出席することがあ る。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	○			・学校HPや送迎時など学校側と情報を共 有。また初めてお迎えに伺う学校について は学校側に必ず駐車場等の確認を実施して いる。 ・児童の様子やトラブルなどについて、送迎 時に担任から引継ぎを実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている			・該当児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている		○		・相談支援専門員や保護者の方より、情報 を収集している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報 を提供する等している			・該当児童なし	・卒業者がいる際は、情報の共有を実施す る予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	○		・研修の機会を増やして欲 しい	・研修に参加しておりますが、頻度が少ない ため、今後は積極的に研修に参加できるよ うに検討。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る		○	・活動機会が少ない	・土曜日に千代小学校が校庭開放をしてい るため行っており、地域の子どもたちと関わ る機会を設けているが、頻度が少ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している		○		・現在、積極的に参加はしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○			・送迎時、また連絡帳などを用いて保護者の 方へ活動の状況をお伝えしている。また、状 況に合わせて個別で電話、もしくはメール、 お手紙でお伝えすることもある。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等 の支援を行っている		○		・事業所で効果のあった支援方法や支援 グッズは紹介している。 ・保護者の方からの相談時や、お子さまへの 対応についてなど、助言などを適宜実施。し かし十分でないこともあるため、職員の研修 を今後予定。	
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			・重要事項説明書に沿って説明を行い、ご納 得いただいた上で署名捺印をいただしてい る。 ・また特別にイベント等で保護者負担が発生 する場合は事前にメール等でお知らせを 行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行 っている	○			・保護者からの相談事項は、職員間で共有 し、確認し、助言や支援を実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○			・保護者参加型のイベントを実施し、今後も 定期的にも実施する予定。

		チェック項目	はい	いいえ	意見/課題	改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
者 へ の 説 明 責 任 等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情に対する相談窓口、苦情解決責任者、担当者等を配置し、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・毎月「かむらつきーず便り」を発行しております。ホームページやインスタグラム等のSNSを利用し、更新している。
	35	個人情報に十分注意している	○			・個人情報が記載された書類等は、鍵付きのロッカーへ保管している。また職員のPCについては必要がない限り持ち帰り不可。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・絵カード、資料など視覚的に情報を伝達するなど配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・現在コロナ禍のため、予定はしていないが、コロナウィルス終息後は検討。

		チェック項目	はい	いいえ	意見/課題	改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・各種マニュアルは策定している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・定期的に避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・適宜、研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・組織的に決定し、支援計画に記載します。また必ず保護者の方に同意を得た上で実施し、拘束を行った場合は、記録を残すことにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・保護者からの聞き取りを実施しており、いつも見える場所に張り出しを実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ヒヤリハットをデータとして蓄積しております。またヒヤリハットの事例が起きた場合は、職員間で共有し、再発防止に努めています。